

武雄市では野球場の老朽化にともない、新球場の建設を計画。2024年国民スポーツ大会軟式野球競技の開催に向けた整備も兼ねて、ひげしんスタジアム(武雄市民球場)を竣工しました。県内初となる全面人工芝を導入し、LED投光器によるナイター照明も実現し利用可能時間を拡大。また周囲には3,200㎡の広さの天然芝の公園やウォーキングコースも設け、市民に親しまれる球場として整備されています。

ひげしんスタジアムは、駐車場124台、ファウルボール対策、ナイター照明、硬式球使用対応、屋根付き観客席などを備えた、新しい野球場として誕生しました。ブルペンや多目的グラウンドなども設け、より利用しやすく、観戦しやすい球場になっています。またメインスタンドは2階建ての管理棟も兼ね放送室、来賓室、更衣室などを整えています。



【物件概要】  
所在地：佐賀県武雄市東川登町大字永野 7927 番地  
グラウンド面積：13,300㎡(両翼98m、中堅122m)  
施主：武雄市  
設計：(株)坂本設計事務所  
(株)日建設備設計事務所  
施工：電気設備/(株)九電工  
ナイター設備/(株)佐電工・(株)宮園電工 JV  
竣工：2022年6月

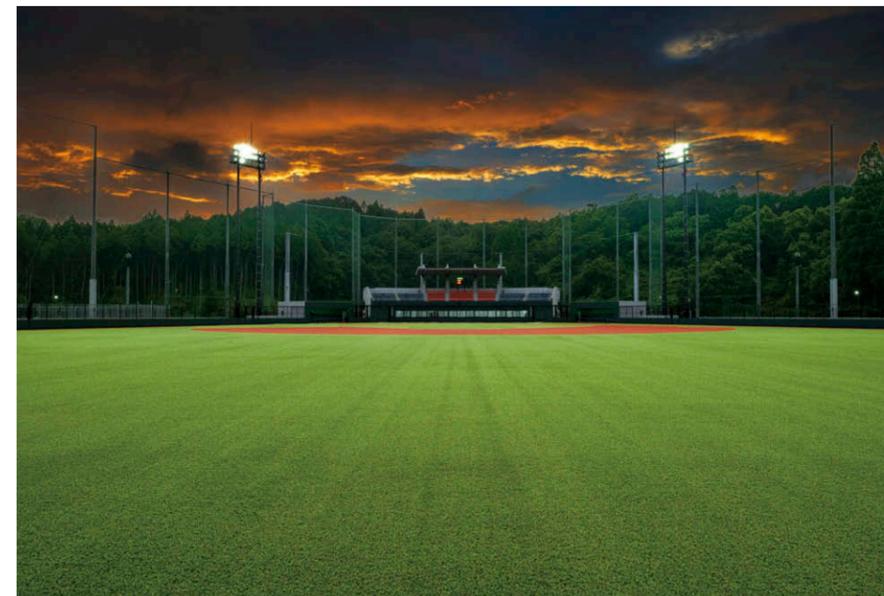


バックネット観客席からグラウンド全体を望む LED投光器①② 78台によるナイター照明。

JISナイター照明の照度基準をクリアし、LED投光器にフード付きルーバーを設置し漏れ光を抑制。

武雄市は野球競技人口が多く、旧野球場も高い稼働率で利用されていました。一方設備面では、一定規模以上の大会や合宿が開催できないといった課題も抱えていました。そこで武雄市では野球場の移転再整備を進め、機能、設備ともに充実させた利用しやすく、親しみやすい、本格的な球場としてひげしんスタジアム(武雄市民球場)を建設しました。プロ野球のグラウンドと遜色ない規模で、佐賀県では初の全面人工芝を導入。内外野に高さ28mの照明柱を2本ずつ建て、1.5kWメタルハライドランプ器具相当のLED投光器を78台設置。旧野球場にお

いて課題の一つだったナイター照明設備を整えました。グラウンド全体に照明が届くように、内野36台、外野42台の投光器が照らし、平均照度は内野500ルクス、外野300ルクスとし、JISのナイター照明の照度基準をクリアし、夜間使用にともなう利用可能時間を大幅に広げました。また高照明率のLED投光器は狙った場所に効率良く照射し近隣への漏れ光を抑えますが、スタジアムが標高35mに位置することを考慮し、内野側の照明器具にはフード付きルーバーを設置し万全の光害対策を講じています。



外野からグラウンドを望む 内野を照らす36台の投光器は光漏れ対策のためフード付きルーバーを設置。



ホームベース後方から見た内外野の照明



外野フェンス近くから見た照明



LED投光器①②



28mの照明柱に設置された内野の投光器①②



外野の投光器①②

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
グラウンド	① LED投光器 中角タイプ	LEDS-70409NM-LJ2	64	消費電力：800W
	② LED投光器 広角タイプ	LEDS-70409NW-LJ2	14	消費電力：800W